



施工完了 チェックシート

◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

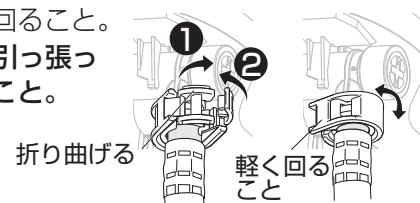
確認日	年 月 日
確認者	

1□から7□を
 チェック

1

クイックファスナーを 正しく取り付けていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張つても抜けないこと。



※クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。
再度、取り付け手順に従ってください。

2

止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いてないと洗浄強さが得られないことがあります。

3

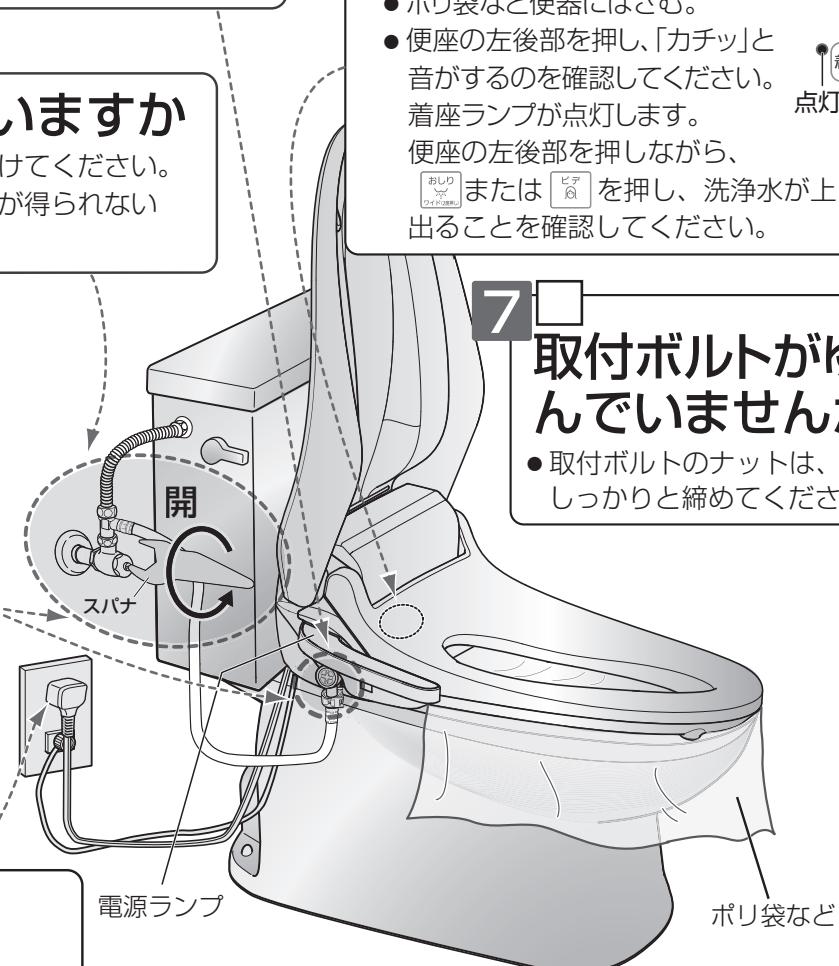
水漏れして いませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。
施工後および水抜き後の初回運転のみノズルの左（逃がし水口）から出る水は、水圧調整の逃がし水で故障ではありません。

4

電源は入って いますか

- 電源ランプは点灯していますか。



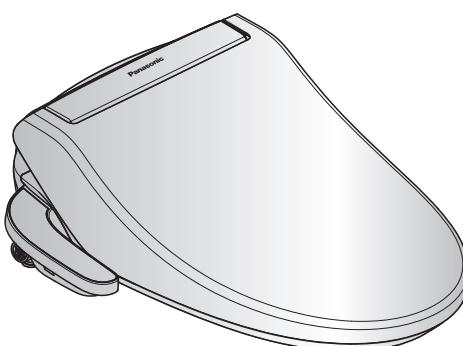
配管方法などはイラストと異なる場合があります。

お願い ●試運転は、必ず行ってください。 (18ページ)

パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナー事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2015



Panasonic®

施工説明書

温水洗浄便座 家庭用

品番 DL-RJ40
DL-RJ20

ページ

準備

施工

取付

試運転

確認

1	●安全上のご注意.....	2
	●施工の前に.....	3
	●各部の名前と同梱部品の確認.....	4
2	●施工の流れ.....	6
	●止水栓を閉める.....	8
	止水栓がある場合 止水栓がない場合	
	●分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける	9
	初めて温水洗浄便座を取り付ける場合	
	既設の温水洗浄便座から取り替える場合	10
3	●本体を取り付ける.....	12
	●給水ホースを取り付ける.....	13
	●アース線の接続 ●止水栓を開ける	14
	●クッションを取り付ける.....	14
	●リモコンを取り付け、電源を入れる	15
	●ひとセンサーを取り付ける.....	16
4	●試運転.....	18
5	●こんなときは.....	19
	●施工完了チェックシート.....	裏表紙

パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。
panasonic.jp/toilet/



安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

！警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

！注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

！警告

D種接地工事を行う
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

！電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。

施工は、施工説明書に従って確実に行う
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因。

施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因。

電気工事は、内線規程に従つて施工する
内線規程に従わないと、火災、感電の原因。

定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因。

コンセントのアース端子にアース線を取り付ける
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

！注意

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因。

上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因。
腐食や異物付着による水漏れの原因。

電池は誤った使い方をしない

- (+)と(-)を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池と一緒に使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因。



水場使用禁止
バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因。

！注意

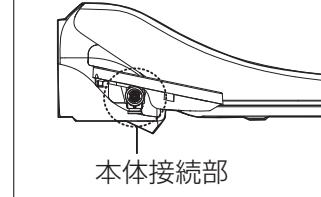
水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う
条例に基づいて行わないと、水漏れの原因。

移動や施工時、本体を持つ

便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因。

本体接続部は、落下等でストレスをかけない

ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因。



施工の前に

お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工する。
- 必ず同梱の分岐金具をご使用ください。
- 既設の温水洗浄便座から取り替える場合は、既設のひとセンサーやリモコンは必ず取り外してください。(干渉して誤動作します)

お知らせ

- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがあります、故障ではありません。
- 使用水圧範囲は49~735 kPa、 $0.5\text{~}7.5 \text{ kgf/cm}^2$ です。
- 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。

■給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは300 mmです。

フレキシブルパイプは切断しないでください。

右図のA寸法が、約150~330 mmの場合は、取り付けできます。
上記以外で②③の場合は、部材購入が必要です。

同梱のフレキシブルパイプ(給水管)

300 mm

口径: G1/2

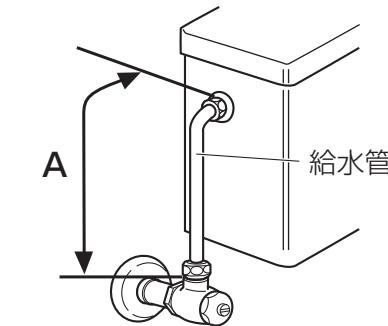
①A寸法が約150~330 mmの場合の施工例

②A寸法が約150~330 mm以外の場合

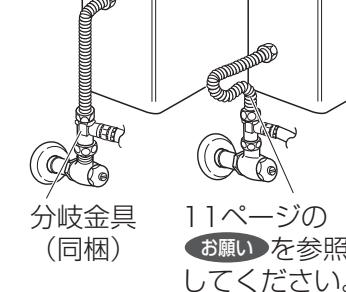
別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。

	フレキシブルパイプの長さ	品番	本体希望小売価格
別売品	250 mm	☆ AD-HS25B	600円(税抜)
	350 mm	☆ AD-HS35B	720円(税抜)
	400 mm	☆ AD-HS40B	770円(税抜)
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。	

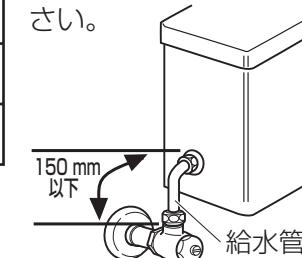
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
価格は2015年1月現在の希望小売価格です。
価格・品番は変更される場合があります。



③給水管が短い場合
または外れない場合
A寸法が約150 mm以下
ではフレキシブルパイプ
が曲げられず、取り付け
られません。この場合、
9ページを参照してください。



11ページの
お願い
を参照
してください。



■リモコン、ひとセンサー(DL-RJ40のみ) 取付位置の確認

リモコン、ひとセンサーを取り付ける位置は、15~16ページを参照してください。

■ご準備いただくもの



メジャー



プラス
ドライバー



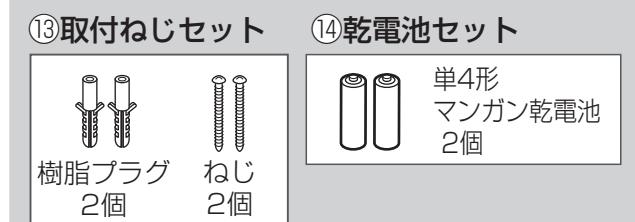
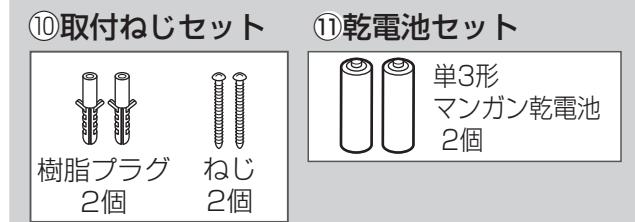
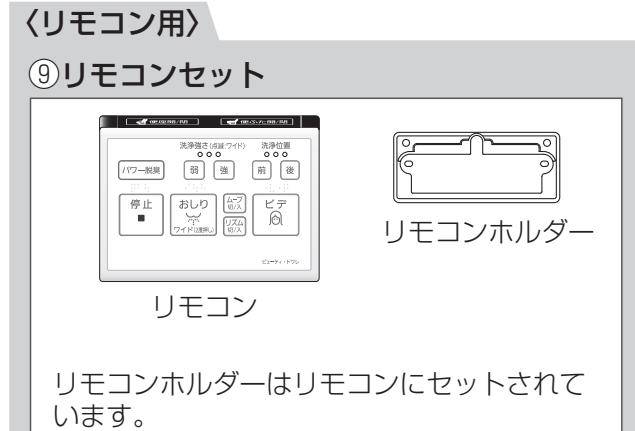
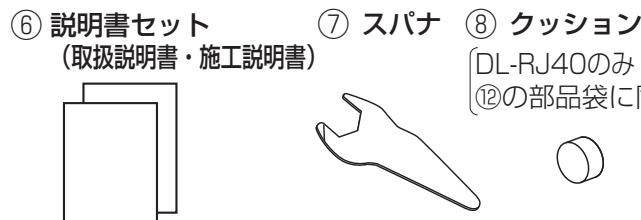
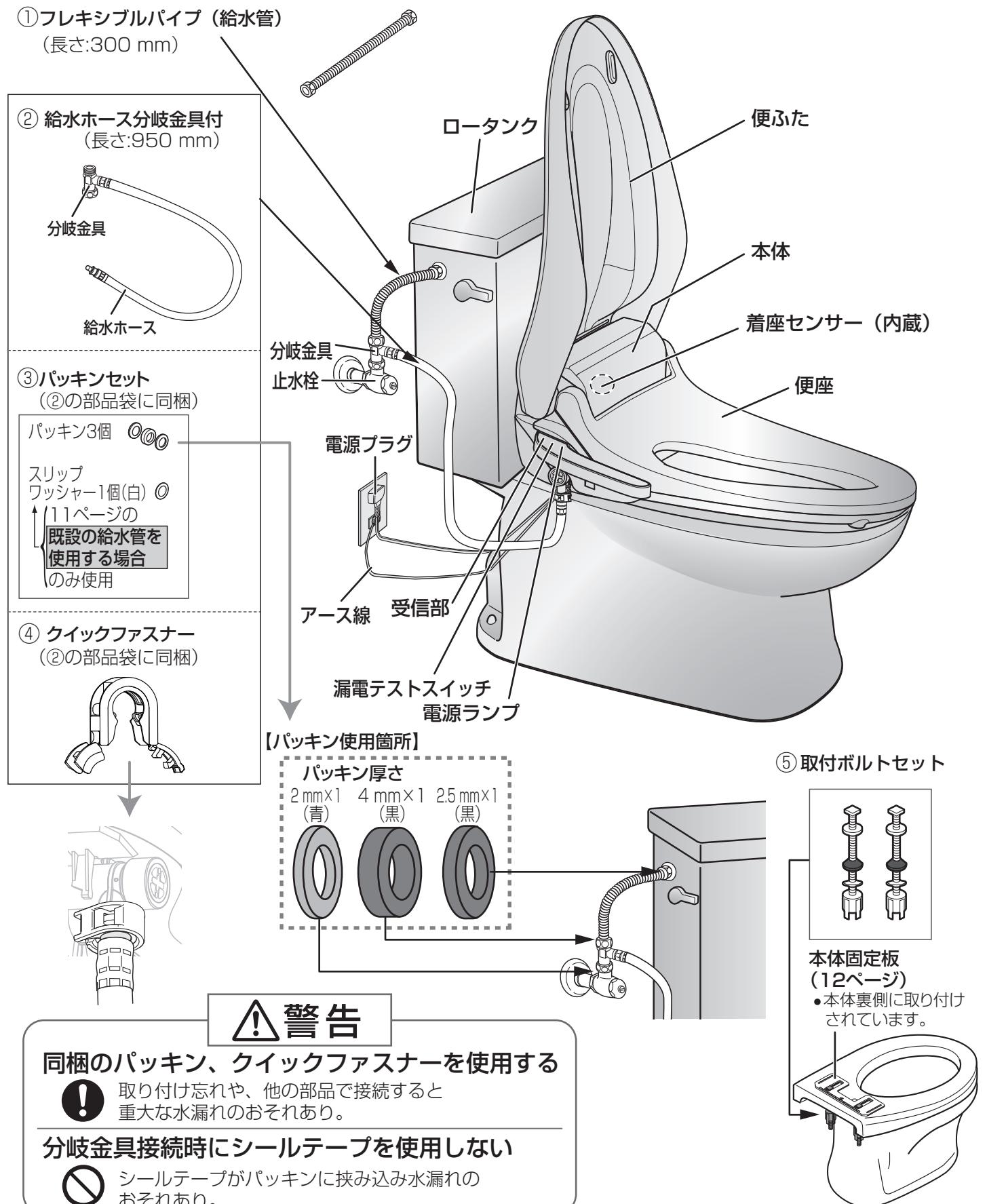
モンキー
レンチ



バケツ・ぞうきん

各部の名前と同梱部品の確認

施工方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。



⑩⑬の取付ねじセットは共用です。
●操作音について
各スイッチを押すと、本体より操作音が「ピッ」と音がします。ただし、停止スイッチ、各スイッチの「切」設定時の操作音は「ピー」、操作を受けないときは「ピピピ」と音がします。

【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	フレキシブルパイプ(給水管)	1	<input type="checkbox"/>
②	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
③	パッキンセット (パッキン薄い黒2.5 mm厚さ×1) パッキン青2 mm厚さ×1 パッキン厚い黒4 mm厚さ×1 スリップワッシャー(白)×1	1	<input type="checkbox"/> (②の部品袋に同梱)
④	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> (②の部品袋に同梱)
⑤	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑥	説明書セット 取扱説明書 施工説明書	1	<input type="checkbox"/>
⑦	スパナ	1	<input type="checkbox"/>
⑧	クッショーン (DL-RJ40のみ)	1	<input type="checkbox"/> (⑫の部品袋に同梱)

リモコン用	⑨	リモコンセット (リモコン リモコンホルダー)	1	<input type="checkbox"/>
	⑩	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
	⑪	乾電池セット(単3形マンガン乾電池)	1	<input type="checkbox"/>

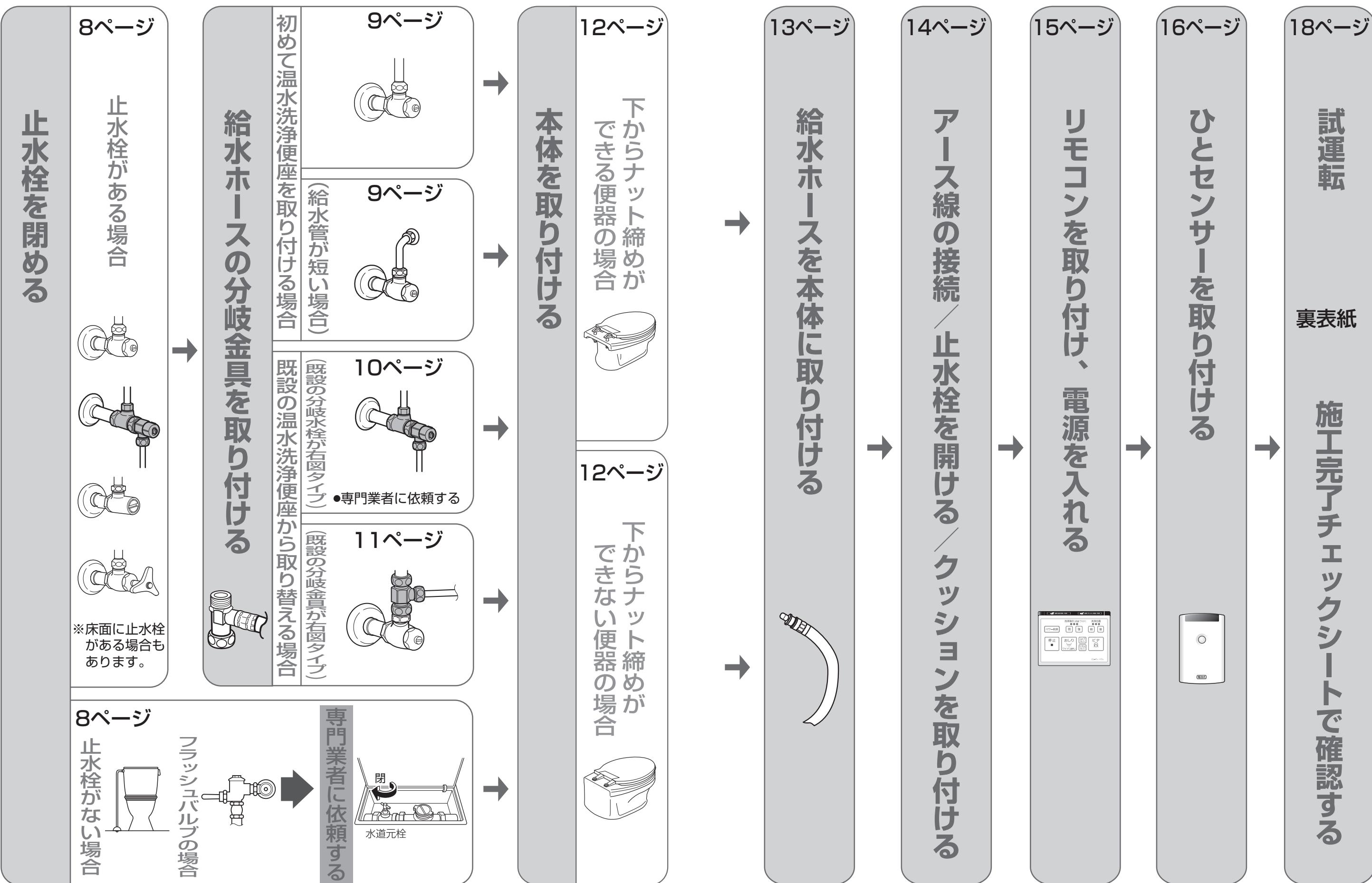
ひとセンサー用	⑫	ひとセンサー センサー ホルダー センサー ホルダーはひとセンサーにセットされています。	1	<input type="checkbox"/>
	⑬	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
	⑭	乾電池セット(単4形マンガン乾電池)	1	<input type="checkbox"/>
	(DL-RJ40のみ)			

記号	部品名	部品品番	※	数量
Ⓐ	別売分岐水栓・キャップセット (9ページ) 分岐水栓 キャップカバー キャップA パッキン大 黒2.5 mm厚さ×1 説明書	ADL531A-B4JS		1

※部品品番は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
別売品のⒶは、配管の状態によって必要な場合があります。販売店でご購入ください。

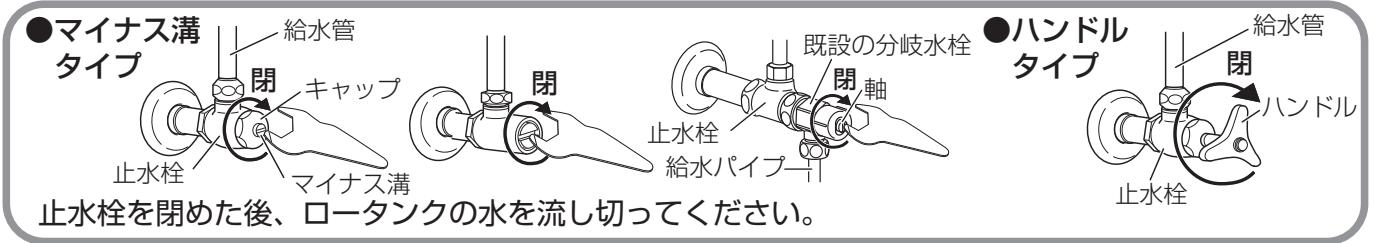
施工の流れ

パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。
panasonic.jp/toilet/



止水栓を閉める

■止水栓がある場合



9~11ページ

分岐金具を取り付ける

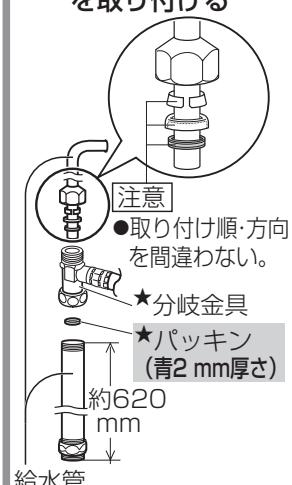
■止水栓がない場合 → 施工については専門業者に依頼してください

分岐金具を取り付ける

(分岐金具の締め付け方)
→9ページ参照
★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
㊂は、サービスルート扱い(別売品)です。

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

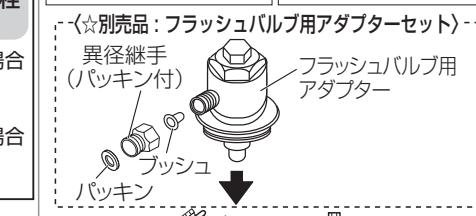
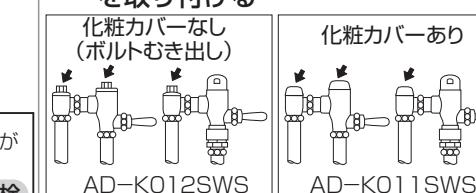
- 1 水道の元栓を閉める
- 2 給水管に分岐金具を取り付ける



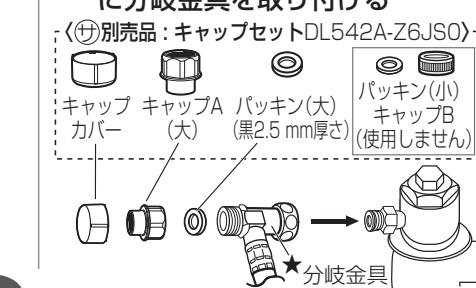
詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

INAX製の場合

- 1 水道の元栓を閉める
- 2 ②部を外す
- 3 フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける



- 4 フラッシュバルブ用アダプターに分岐金具を取り付ける



○取付後、水道の元栓を開けてください。

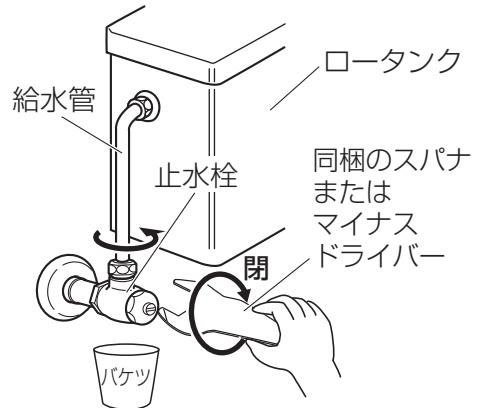
初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

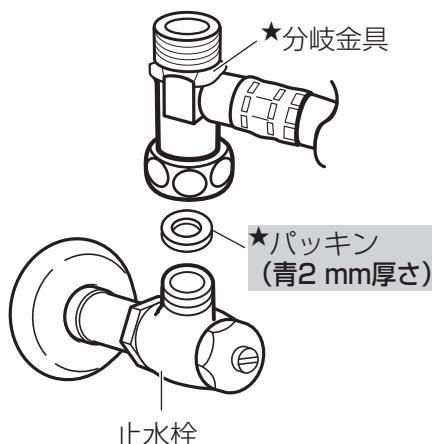
●ロータンクの下からの給水の場合は、止水栓と給水ホースの間に分岐金具を取り付けてください。
(フレキシブルパイプは使用しません)

★は、同梱部品です。
㊂は、サービスルート扱い(別売品)です。

1 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す



2 分岐金具を止水栓に、取り付ける



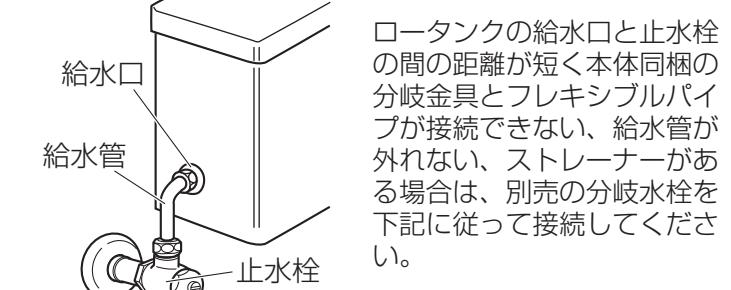
〈分岐金具の締め付け方〉



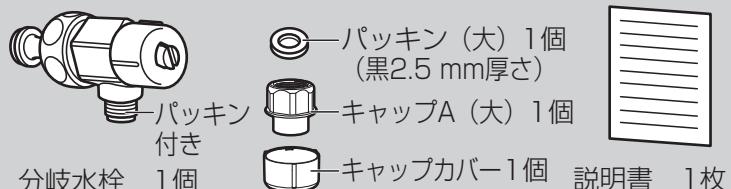
締付トルク 10~15 N·m(100~150 kgf·cm)
指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない

給水管が短い場合、給水管が外れない場合、
給水管にストレーナー(フィルター)がある場合
(外ねじタイプの止水栓の場合は取り付け可能)

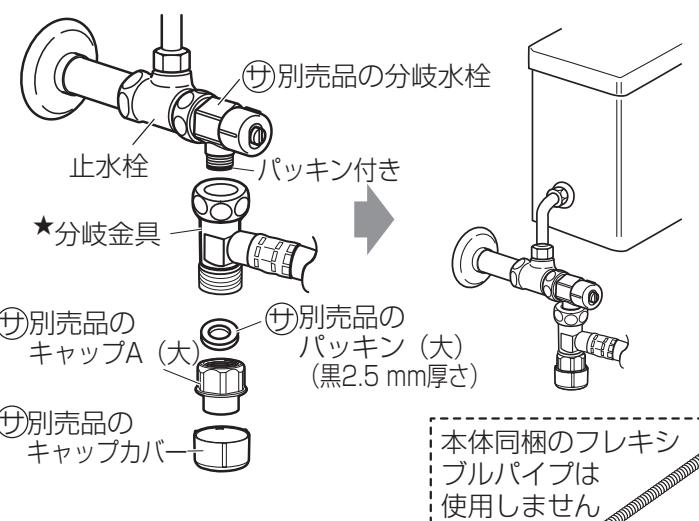
下記の別売品を販売店で購入してください。



〈別売品Ⓐ〉別売分岐水栓・キャップセット
(品番: ADL531A-B4JS)



- 1 水道の元栓を閉める
- 2 別売品の分岐水栓を取り付ける
- 3 本体同梱の分岐金具を取り付ける



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

11ページ 分岐金具を取り付ける ② 給水管の取り付け

12ページ

本体を取り付ける

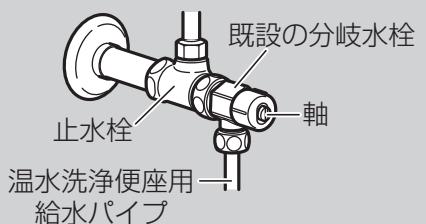
12ページ 本体を取り付ける

既設の温水洗浄便座から取り替える場合

分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

●分岐水栓がタイプⒶの場合は、止水栓を元に戻す必要があります。専門業者に依頼してください。

既設の分岐水栓が
下図のタイプⒶ

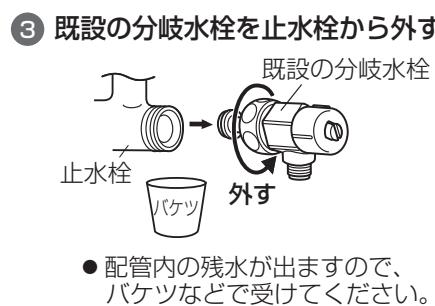
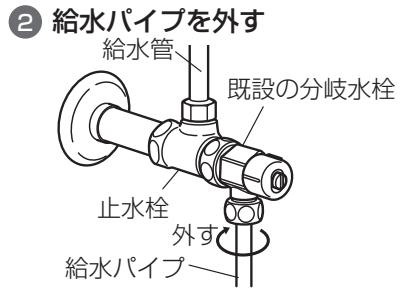


- 1 水道の元栓を閉める
 - 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
 - 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
 - 本体取り付け完了後、全開にしてください。

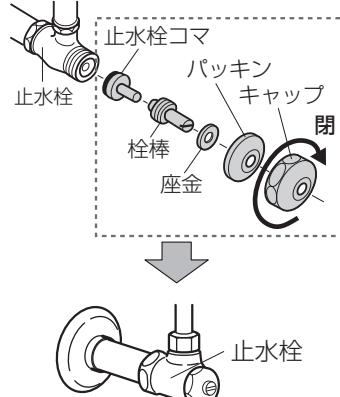


★は、同梱部品です。
⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

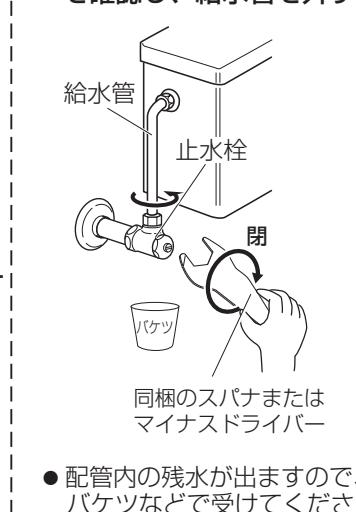
止水栓を元に戻す場合



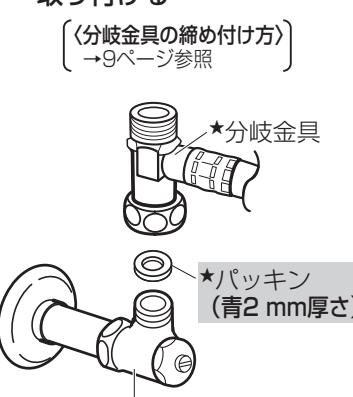
止水栓を元にもどす



止水栓を元に戻す場合

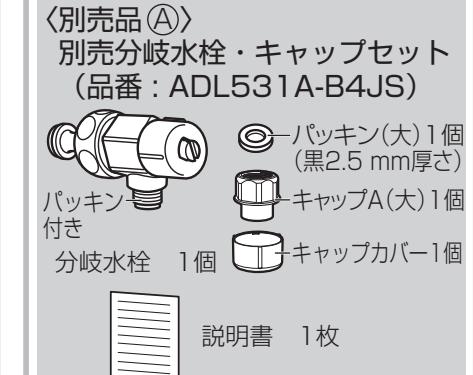


分岐金具を止水栓に取り付ける

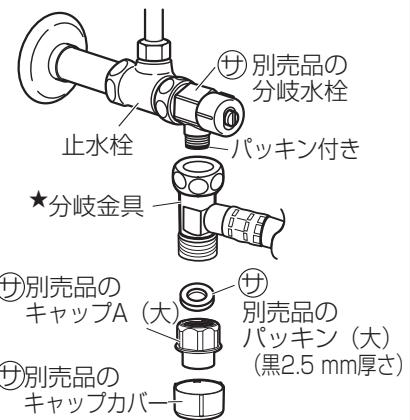


止水栓を元に戻せない場合 (外ねじタイプの止水栓の場合は取り付け可能)

別売分岐水栓・キャップセットを購入いただき、取り付けができます。

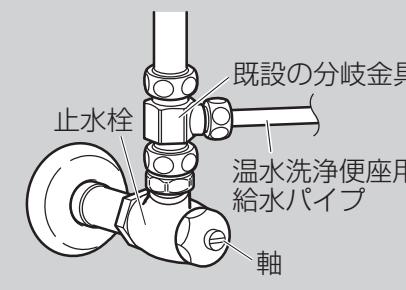


- 2 別売品の分岐水栓を取り付ける
- 3 本体同梱の分岐金具を取り付ける

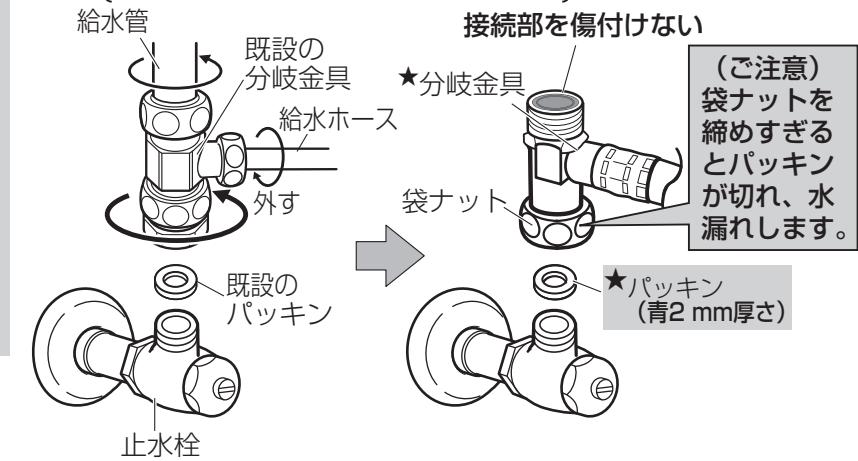


詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください。

既設の分岐金具が
下図のタイプⒷ



- 1 給水管を外してから、同梱の分岐金具に交換する
([分岐金具の締め付け方](#) → 9ページ参照)



(ご注意)
袋ナットを締めすぎる
とパッキンが切れ、水漏れします。

★パッキン(青2mm厚さ)

●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

給水管の取り付け

- 既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。

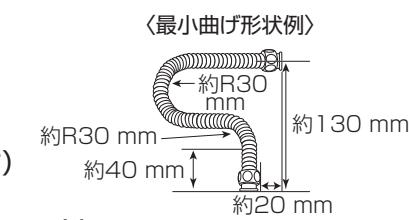
同梱のフレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。

口径: G1/2

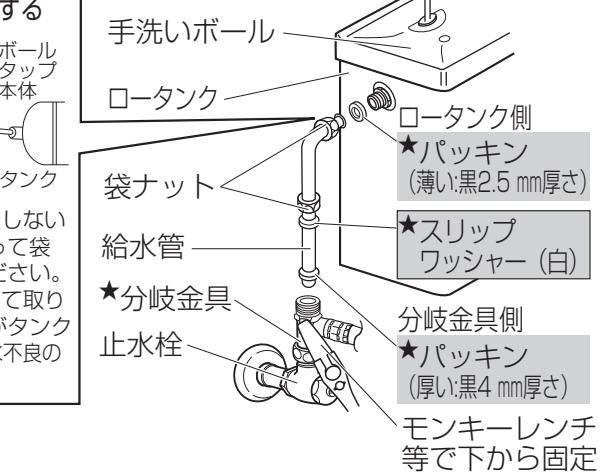
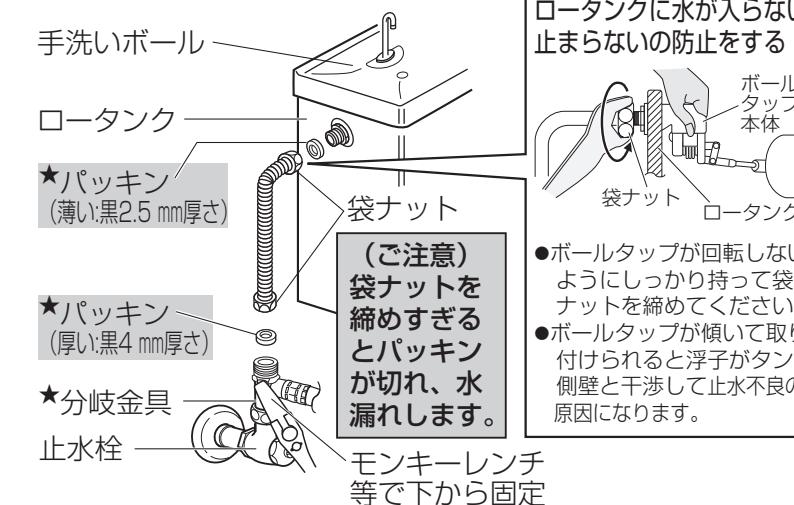
お願い
フレキシブルパイプは

- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない
(折れことがあります)
- 切斷しない
- 長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。



既設の給水管を使用する場合 給水管にストレーナー(フィルター)がある場合

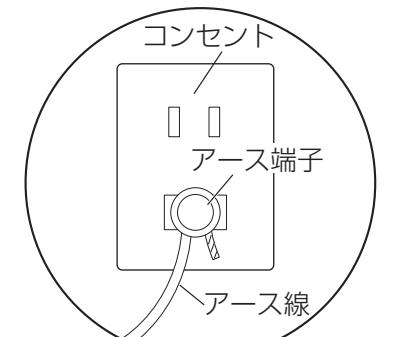
- 分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切斷。
(フレア加工している場合は、切斷長さに注意)
- 分岐金具への差込代は約10mmを必ず確保する。



アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)



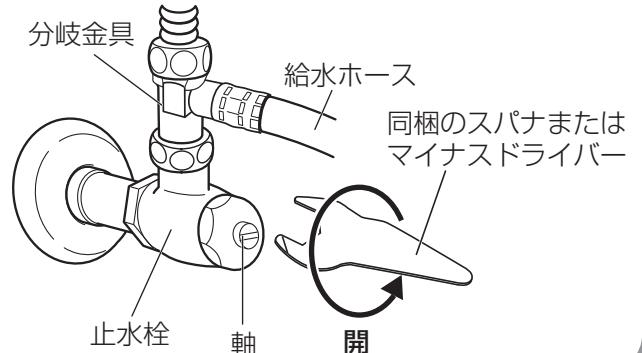
上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は十分に開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度にまたは、洗浄中の通水音が気にならない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。

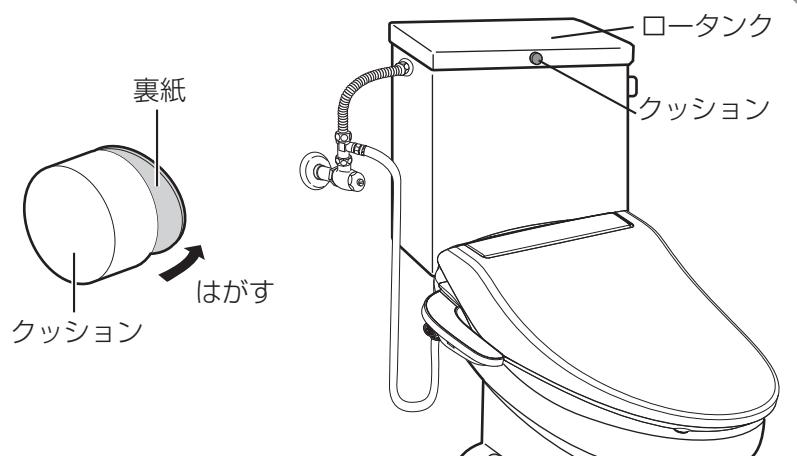
十分に開いていないと低流量異常
(温水ランプが全点滅) が発生する
場合があります。



クッションを取り付ける

(DL-RJ40のみ)

- 便ふたがロータンクに強く当たる場合は同梶のクッションを右図を参考に貼り付けてください。
●貼る前に、汚れ、水分などを拭き取ってから貼り付けてください。

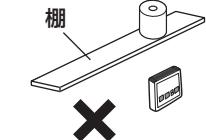


リモコンを取り付け、電源を入れる

- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。



リモコンと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。



1 リモコンの電池ふたを開け、乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【2ページ】を必ずお守りください。

2 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信確認をする

①電源プラグを差し込む

- 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する。

②リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデスイッチを押す

- 本体の電源ランプが1回点滅と同時に本体から「ピピピ」と音がします。

(ただし、着座センサーが検知している場合は「ピッ」と音がします)

送受信可能な位置です。

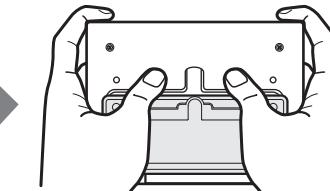
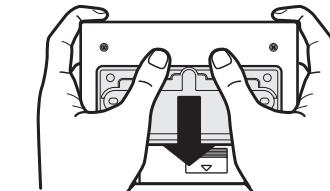
◆電源ランプが1回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

3 リモコン（リモコンホルダー）を壁面に取り付ける

①リモコンからホルダーを外す

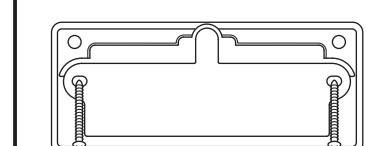
- ホルダー上を指で押さえながら下方向にずらして外す。

②ホルダーを壁面にねじで取り付ける



A.ねじ止めできる壁材

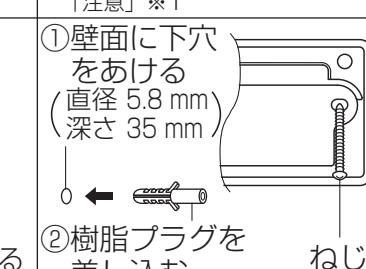
- 各種合板
- ビニールクロスなど



- ねじ2本で壁面に取り付ける

B.ねじ止めできない壁材

- タイル・コンクリート
- 石こうボードなど
「注意」※1



※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梶の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

③リモコン裏面の溝をホルダー凸部に合わせて上から差し込む

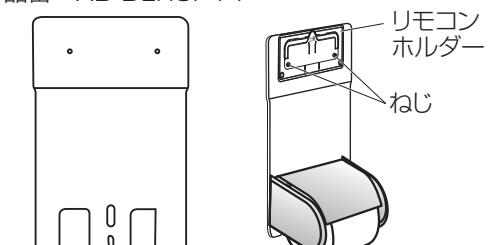
④リモコンが取り外せることを確認する

(電池交換が必要なため)

ねじ止めできない場合

別売品のビューティ・トフレ用リモコンプレートでペーパーホルダーに取り付けできます。販売店でご購入してください。ただし、2連式のペーパーホルダーには取り付けできません。

別売品ビューティ・トフレ用リモコンプレート
品番：AD-DLRCP1-F



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください。

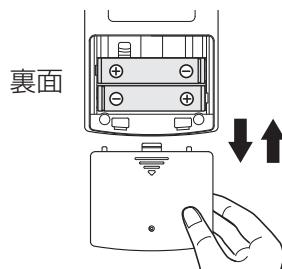
ひとセンサーを取り付ける (DL-RJ40のみ)

■トイレのパターンに合った位置に取り付ける(トイレの扉と便器の位置関係により異なります)

- ひとセンサーは人(発熱体)の動きを検知し、便ふたの開閉を自動で行います。

① ひとセンサーの電池ふたを開け、乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【2ページ】を必ずお守りください。



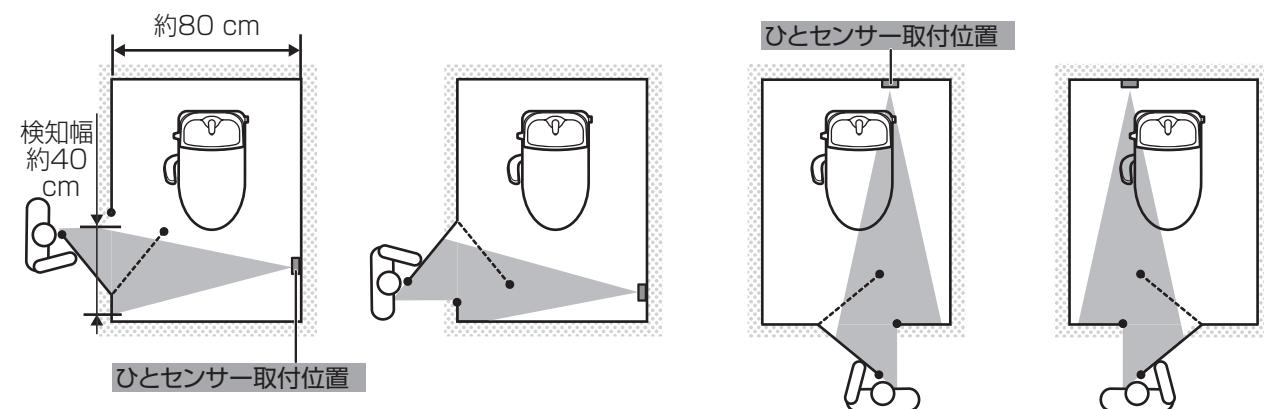
② 取付位置を選ぶ (下図参照)

〈トイレのパターン別、取付位置例〉

- ひとセンサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、人を確実に検知する位置に取り付けてください。ひとセンサーが人を検知すると本体から「ピッ」という受付音がします。
- ひとセンサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
- ひとセンサーを便座の方向に向けて取り付けると誤作動する場合があります。

扉の対向面の壁に取り付けてください。(扉が引き戸の場合も同様)

- トイレの幅が約80 cmの場合、ひとセンサーの検知幅は約40 cmになります。

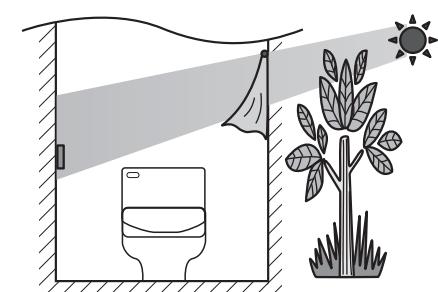
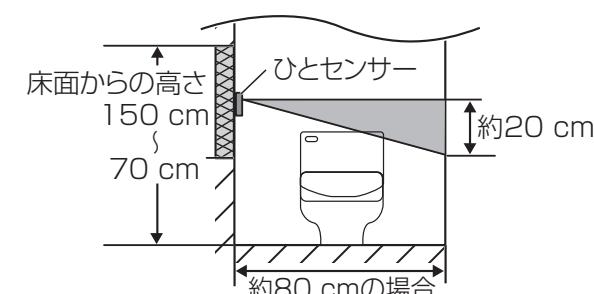


〈取り付け高さ〉(どのパターンでも共通です)

XXXXXX 取り付けるのに適した範囲です。

ひとセンサーの検知範囲の目安です。

- ご使用になる方の身長に合わせて、取り付け高さを決めてください。



ご注意 次のような場所に取り付けるのは避けてください。

- 直射日光の当たるところに取り付けた場合、カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられると、誤作動することがあります。

③ ひとセンサーと本体の送受信確認をする (位置決め)

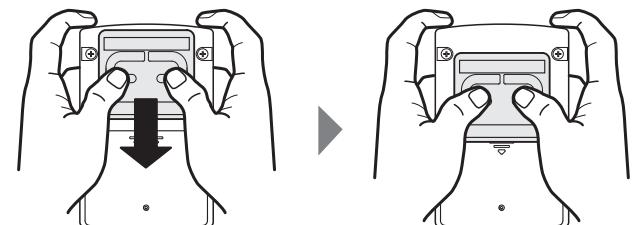
- 本体操作部の便ふた自動開閉スイッチが「入」になっていることを確認する
- 便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る
- 1~2分以上経過後、トイレに入り、便ふたが開くことを確認する

お知らせ

- ひとセンサーが人を検知すると、本体から「ピッ」と音がします。

④ ひとセンサーholdeRを壁面に取り付ける

- ひとセンサーからholdeRを外す
 - holdeR下を指で押さえながら下方向にずらして外す

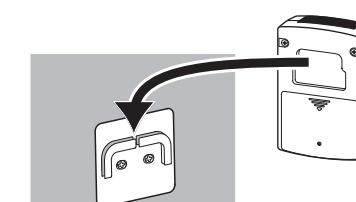


② holdeRを壁面にねじで取り付ける

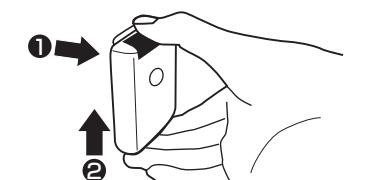
A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材(タイル)
<ul style="list-style-type: none"> 各種合板 ビニールクロスなど 	<ul style="list-style-type: none"> タイル・コンクリート 石こうボードなど <p>「注意」※1</p>	<ul style="list-style-type: none"> 壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 表面がザラザラした壁面や凹凸がある面(クロスなど)に取り付けるとひとセンサーが落ちる場合があります。
	<p>① 壁面に下穴をあける(直径 5.8 mm) ② 樹脂プラグを差し込む</p>	<p>両面テープ(ホルダー裏面)</p>

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

③ ひとセンサー裏面の溝をholdeR凸部に合わせて上から差し込む



④ ひとセンサーが取り外せることを確認する(電池交換が必要なため)



ひとセンサーの上部を手前に引きながら上に引き上げる

試運転

こんなときは

1 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する

(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)

給水接続部から水漏れがないことを確認する

2 本体梱包用のポリ袋などを便座と便器の間にはさむ

(水の飛び散り防止のため)

3 電源プラグが差し込まれていることを確認する

4 漏電テストスイッチを2秒以上押す

・漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
(漏電テスランプ(赤)点灯、電源ランプ(緑)消灯)

5 電源プラグを抜く

・漏電テスランプ(赤)が消灯することを確認する。

6 電源プラグを差す

・電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に換わります。

7 便座の左後部を押しながら(着座ランプ点灯)

リモコンの  または  を押す

・着座検知し、脱臭が始まります。
(作動音がします)

・ノズルを洗浄し、約10~20秒後に洗浄水が出ます。(着座検知していないと「ピピピ」と音がし、洗浄水が出ません)

・ポリ袋の上から手を当て温水ができる事を確認してください。

(温水が出ない場合は、温水温度スイッチで設定温度を切り換えてください)

8 リモコンの を押す

・ノズルが戻ってから、ノズルを洗浄する水が出ます。

・便座の左後部から手を離すと、約1分後に脱臭が停止します。

9 便座温度が設定されることを確認し、約5分待つ

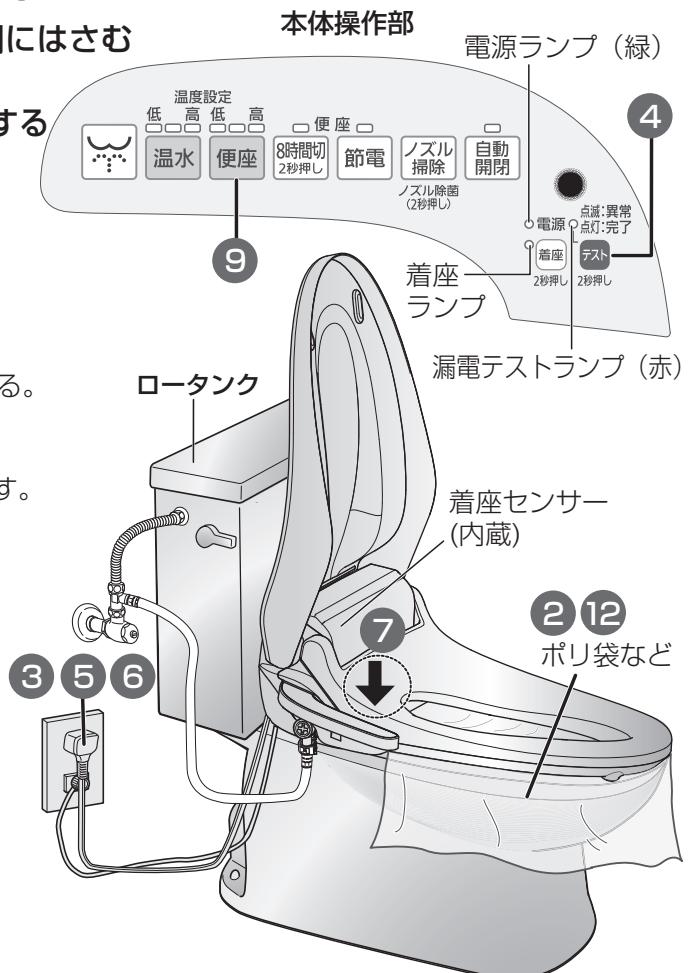
10 便座を手で触り、あたたかくなっていることを確認する

11 取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄など機能の確認をする

12 ポリ袋を外す

お知らせ

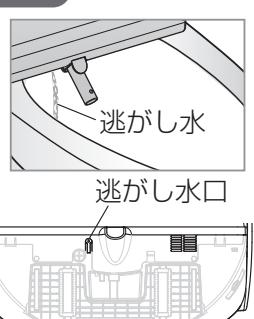
- 漏電テスランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、工事店または販売店へ連絡してください。



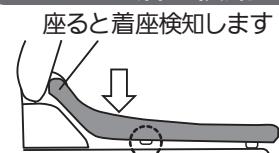
水圧調整の逃がし水について

・ノズルの左(逃がし水口)から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。

逃がし水口が便器面でふさがったとき、水が便器内に流れないとあります。この場合は、本体を少し前に引き出して取り付け直してください。(12ページ)



着座検知について



便座の後ろ脚と、前の片側の脚が浮いている状態が正常です。
この浮き(隙間)がないと座ったときに着座検知しません。

現象

本体操作部の温水温度ランプが全点滅する



洗浄水が出ない
洗浄強さが弱い

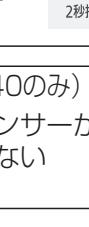
ロータンクの水が入らない、止まらない

手洗いボールから水はねする

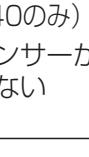
通水音(シュー)がする

接続部から水漏れする

電源が入らない



(DL-RJ40のみ)
ひとセンサーが検知しない



天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する

施工後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間(1週間以上)使用しない場合は、水抜きをしてください(取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照)

考えられる原因と処置方法

参照ページ

・水道の元栓、止水栓が十分に開いていない
・止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ

水道の元栓、止水栓を十分に開き、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う

18

水道水フィルターがつまっている

掃除する

取扱説明書

水道の元栓が全開になっていない

水道の元栓を全開にする

10

止水栓が十分に開いていない

止水栓を十分に開く

14

ロータンクに給水中

水が貯まるのを待つ

—

ロータンク内の浮子がゆがんでいる

浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す

11

水圧が高く給水量が多い

止水栓を適量に絞る

14

給水ホース先端のOリングにゴミが付着

Oリングのゴミを取り除く

13

ナットの締め付け力が不足

増し締めする

—

締め過ぎによるパッキンなどのずれ

ずれをなくす

11

クイックファスナーの差し込み不足やずれ

確実に固定する

13

テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動(本体の漏電テストランプが点灯)

電源プラグを抜き漏電テスランプが消灯してから電源プラグを差し込む

18

・人がいても体の動きがない
・電池の入れ忘れ

・体を動かしてください
(センサーは熱の変化を検知する)
・電池を入れる

16~17

試運転
確認